

実施計画事業名		生活環境維持事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部衛生課		課長(主幹)名	田端 義親			
総合計画体系	分野	3	環境・生活					
	政策	2	暮らしを支える生活環境づくり					
	施策	2	良好な生活環境を確保します					
	関連施策							
現状と課題	一般廃棄物と同様に、市が処理する責務があり、収集については委託業務で行ない、汚泥投入共同処理施設に搬入し、処理費を負担し処理している。浄化槽汚泥は、許可業者に収集させ、汚泥投入共同処理施設に搬入させている。							
目的	生活環境の維持・地域の公衆衛生の保持							
施策展開の	<p>◆下水に排出できないし尿については、全て汲取りにより収集する。</p> <p>◆下水道区域外で生活排水による公共水域の水質汚濁を防止し、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与するため、合併処理浄化槽を設置する場合に、その費用の一部を助成する。</p>							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	し尿汲取り世帯数		世帯	目標	1,010	983	930	
説明	し尿汲み取りを必要とする世帯の数			実績	817	734		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	水洗化切替世帯数		世帯	目標	28	27	26	
	説明	汲み取りにより処理していた世帯のうち、水洗に切り替えた世帯数		実績	26	2		
	し尿処理(汲取)処理量		kℓ	目標	1,417.0	1,392.0	1,345.0	
	説明	汲み取りにより処理した、し尿の量		実績	1,428.1	1,250.3		
	し尿処理手数料の徴収率		%	目標	100.0	100.0	100.0	
	説明	し尿処理手数料の現年度徴収率=(現年度分の収入済額/現年度分の調定額)×100		実績	99.0	99.6		
				目標	-	-	-	
			実績					
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	28,457	31,281	38,034		
	国庫支出金		千円	1,015	1,528	1,702		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	14,422	12,885	12,600		
	一般財源		千円	13,020	16,868	23,732		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.67	0.61	0.56		
人件費(B)		千円	4,550	4,242	3,894			
計(A+B)		千円	33,007	35,523	41,928			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> し尿汲取世帯数は、転出、高齢者世帯が親族との同居等の理由により、対前年比で83世帯減少した。 し尿処理業務は一般廃棄物処理と同時に市が処理する責任もあることから、公衆衛生維持という観点からも継続していかなければならない。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--